



第6回
ユニット2 子どもたちの人生か
ら支援の可能性を考える③

異文化間コミュニケーションの
大切さ



南浦涼介

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ユニット1 現状と課題を知り 「外国人の語学教育」ではないことを知る			ユニット2 子どもたちを知り ことばと文化の 多様性に対する対応 のあり様を検討する			ユニット3 日本語の教育方法を知り 具体的な授業の発想や思想 具体的なスキルを検討する				ユニット4 学校づくりを知り 多文化共生の地域や学校をどのよう に構築するかを検討するまとめ				
概要	受入 方法	歴史 と 移動	言語 社会	認知と 教育	異文 化	教科 と 日本	初期 指導	テー マ学 習	インク ルーシ ブ	学外 連携	共生 学校	学校 変革	小規 模校	まとめ

教師の目には「日本語」の側面しか往々にして見えない。

子どもたちは「もう1つのことば」を持っており、それを促していくことも大事

C女士へ

今天的这则故事我觉得很不错,特别是我觉得台语可能有影响到福州的口语,今天洪女士在讲故事时,无意中吐露出台语“暗momo”我发现福州也有定种说法,谢谢您 | B在下

Cさんへ

今日聞いたこのお話は、とても良かったです。特に思ったのは、台湾語は、福建の話し言葉に大きな影響を与えた可能性がある、ということです。今日、Cさんがお話をしていたとき、無意識だと思うのですが、台湾語で「暗momo」と言っていましたね。それで僕は、福建にもこの話し方があることに気づきました。本当にありがとうございました。また私たちの学校に来てください。
Bより

先週の続き

(大人が) 日本語だけにとらわれていませんか？

教師の目には「日本語」の側面しか往々にして見えない。

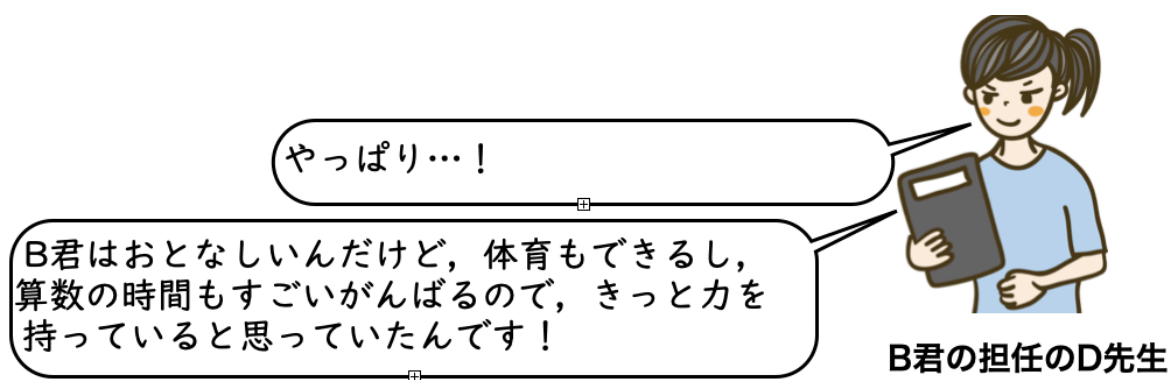
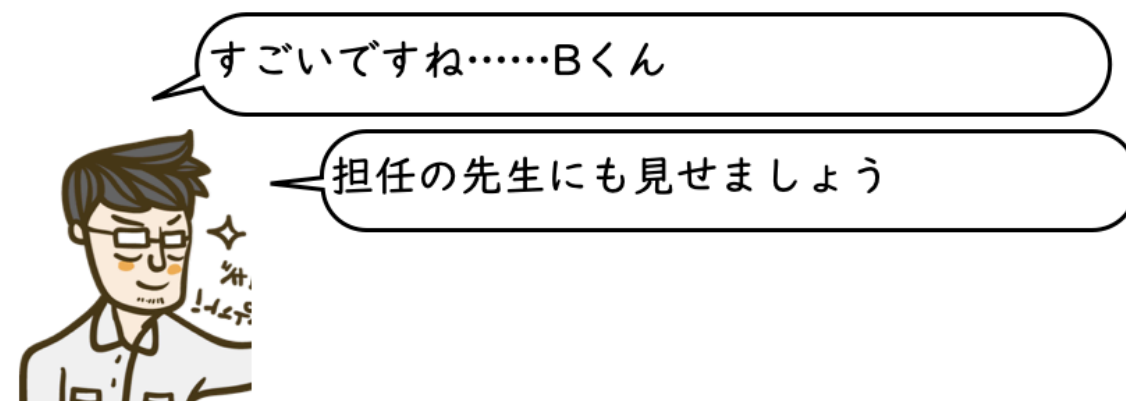
子どもたちは「もう1つのことば」を持っており、それを促していくことも大事

C女士へ

今天的这则故事我觉得很不错,特别是我觉得台语可能有影响到福州的口语,今天洪女士在讲故事时,无意中吐露出台语“暗momo”我发现福州也有定种说法,谢谢您 | B在下

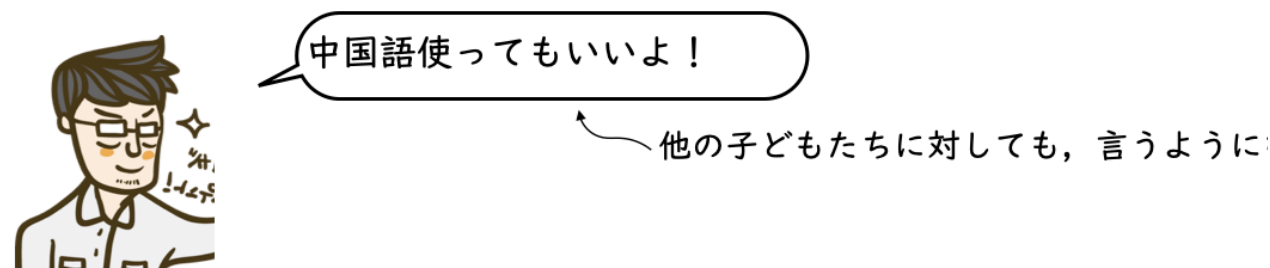
Cさんへ

今日聞いたこのお話は、とても良かったです。特に思ったのは、台湾語は、福建の話し言葉に大きな影響を与えた可能性がある、ということです。今日、Cさんがお話をしていたとき、無意識だと思うのですが、台湾語で「暗momo」と言っていましたね。それで僕は、福建にもこの話し方があることに気づきました。本当にありがとうございました。また私たちの学校に来てください。
Bより



「流れがある」「具体から概念を掴む」
学習プロセスが組み立てられていること

子どものさまざまな個の資源 (例 複数言語)
を駆使して学ぶ保障をすること



概念

複数の言語にかかわることは可能性か？ 課題か？

複数の言語はあなたの中で「つながっている」こと

言語X

2つの言語は全く別物に
見た目には見えるけれど...

言語Y

水面上

水面下

水面下には共通しているものがたくさんある

概念・意味 言語学習のしかた

メタ言語知識 (文法のしくみ、音のしくみ...)

結果的に、ことは、認知、見方や考え方も拡張していく
双方のことも関連づいて成長していく

活動1 トラブルの背景には、どのように子ども・支援者/教師の文化や価値観のズレがあるのだろうか？

概念 異文化間のトラブルの背景の視点

例 南米の男子高校生。学校で体育着や水着に着替えることを嫌がって
いました。更衣室はあったようですが、男子同士でも他人の前で着替える習慣が国ではな
かったそうです。
先生がたにもその旨を伝えたが、理解してもらえず、とても恥ずかしいと言っていた。こ
のため、体育の時間をとても嫌がっていた。



裸や肌を直接見られるのは同性であっても恥ずかしいこと！



更衣室があっても同性でも着替えを見られたくない

体育着や水着に着替えたがらなく体育の時間を嫌がっている

更衣室があれば異性に着替えを見られないから問題ない



同性同士であれば直接裸や肌が見えることは普通のこと！

タスク1 「学習のつまづき」から「教育として何をするか」を考える

①4人のうちの1名を選んで、エピソードを1つ読む

著作権の観点から
ウェブサイト掲示用では削除しています



異文化間のコミュニケーションのズレを分析する

これは、異文化間コミュニケーションのズレやギャップを分析するワークシートです。
ある事実を異なる文化にいる2人がどのように心の中で考え（解釈し）、結果どのような判断や行動を持ったのか、そのズレを可視化する方法として用いられます。

- ・グロリアさんの例を参考にして、「①事実」「②Aさん側の心の中（解釈）」「③Aさん側の判断と行動」「④先生側の心の中（解釈）」「⑤先生側の判断と行動」の観点から、選んだエピソードを整理してみましょう。
- ・ワークシートのマスはあくまで「整理のための観点」です。
「心の中の解釈」と「結果としての判断と行動」は分けにくい物もたくさんあります。あくまで「心の中で考えたことが判断や行動に表れるのだ」と言うことが理解できることが重要な目標なので、「分けにくいな」と思ったときは「エイ」と思い切って分けてしまいましょう。

人文社会科学系の分野は、「観点としては分けられるけれど、実際にはつながっているために切り分けにくい物」がたくさんあります。
「切り分けにくいから困った」のはもちろんそうなので、そこに拘らず、「ああ、観点としてこういうのがあるんだな」を具体でわかっていくことが大事です。
「観点はあっても実際の世界はつながり合っていてわけにくいのだ」ということを知ることだって学びです。

グロリアさんの価値観
黙っていたほうがいいよね。



お母さんの価値観：いつもグロリアはご飯を食べているし、しっかり者だから大丈夫！



グロリアさんとお母さんの解釈
グロリアさん：何のことかよくわからない。お父さんは英語がわからないか。こんなこと先生に言えない…



お母さん：英語で説明されても経験がないのでよくわからない…



例 グロリアさんEp1, p.107
何も持たずに音楽室に来る
「忘れた」とあっけらかん担任の先生もグロリアさんの忘れ物に困っており、生活習慣や学習習慣ができていなくてだらしなく思ってしまう。



担任の先生の解釈
書類は翻訳して渡してるのに返事がない。
父親も関心がなさそう。家庭の教育力が低くて生活習慣ができてない？



担任の先生の価値観
だって家族も教育に関心を持つべき。学校のことを伝えるべき。



③Aさん側の価値観	②Aさん側の心の中 (Aさんの解釈)	①行動やトラブルの 事実	④周囲の側の心の中 (例えば先生の解釈)	⑤周囲の側の価値観
		エピソード1つめ		
		エピソード2つめ		

「学校の文化と子どもたちの文化のズレ」の間に立つ先生はどのような解決があるでしょうか。それぞれのエピソードの「ズレ」を先生達はどう解決したでしょうか。異なるエピソードの中の「これが解決の重要な共通点だな」と思えることを1つから3つ、書き出してみましょう。

解決ポイント①

解決ポイント②

解決ポイント③

タスク1 「学習のつまづき」から「教育として何をするか」を考える

③ 「何が問題か」を以下の視点から検討する（グループでエピソードを1つ選ぶ）

④ 「教師としてどうしたらいいか」を考える

⑤ 「その後の～」エピソードと教師の対応を見て、④の自分たちのアイデアと比べて考える

活動2 トラブルの事例をみながら
そこにある解釈のズレ，価値観の違いを分析してみましょう

概念 異文化間のトラブルの背景の視点



例1 外国からきた生徒たちが，よく授業中に出歩くことが問題となっている。とくにヨーロッパ圏から来る子どもたちが出歩くようだとされている。

例2 先日教頭から聞いた話。外国ルーツの児童 A が学校帰りにコンビニに寄り食べ物を買っているところを日本人のクラスメート B が発見し(日ごろからもめている)、つきまというるさく注意したところ、A が B の脇腹に跡が残るほど強く噛みついたという。

例3 4 月に日本の学校に編入した児童が、手の甲に母国の国旗を油性ペンで書き、毎日注意しても聞かず 6 月頃まで続いたことがあった。ペンであっても遠くから見ればタトゥーに見えてしまい、先生方の間では困っていたという。

「文化のズレ」を冷静に見つけ、解決をする



文化（解釈の基盤となる価値観やそれを育むモノ）の間で
どのような解決のつくりかたができるか？

直接
話をする

間を人で
つなぐ

背景文化を
伝える（得る）

ルールや規範を
考えなおす



一旦留保
する態度

開放性

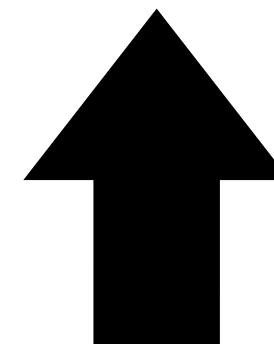
自他の文化の知識

好奇心

発見する力
交流する力

クリティカルな
考え方

「異文化間能力（intercultural communication competence）」
は子どもだけでなく教師も必要



「『A+B→C』になる」は難しい

「『A+B→C』になろうとする」ことは大切。「なろうとする」ために必要な力。